

ピシュナ練習法

ピシュナ練習曲をご存知でも、練習法が解らないという方が多い印象を受けます。

私が学生の頃に指導頂きました練習法をビデオ講座と合わせて解説させていただきます。冒頭の数曲を取り上げました。
ご自身の日頃の練習に取り入れたいと思われましたら、ピシュナを購入されて応用されても良いように思います。

著者：市花 真弓



はじめに

「ピシュナ練習曲」をご存知でも、練習法が解らないという方が多い印象を受けます。私が学生の頃に指導頂きました練習法をビデオ講座と合わせて説明させていただきます。冒頭の数曲にて説明させていただきますが、応用頂けると思います。ご自身の日頃の練習に取り入れたいと思われましたら、ピシュナを購入されて練習されても良いように思います。(私が使用しております楽譜は輸入版です。PISCHNA TECHNICAL STUDIES)

私は高校は普通高校でしたが、母が音楽教室を開いていた事もありまして、音楽大学への進学を熱望しておりました。そんな折、知人の紹介で桐朋学園 井口派の先生に師事致しました。高校2年生の時に、スパルタに井口奏法を叩き込まれましたが、その際に用いた教則本の一つにピシュナがありました。私は、指のフォーム矯正の為にピシュナ及びブラームスの練習曲を用いましたが、フィンガートレーニング及び指の独立の練習としてもピシュナは有効と思います。

ただ、井口奏法は既に国際的に通用しない奏法と言われている事はご了承下さい。そういった事も解説に加えて構成したいと思っています。ご納得の上、活用頂けると幸いです。

市花 真弓

オフィシャルサイト Music Cafe

<http://homepage2.nifty.com/MIImusic/>

目次

はじめに	2
1. ピシュナの練習の目的	4
何の為の練習曲なのかを考えてみましょう。	
2. ピシュナ 1a	
ピシュナ 1a の練習のポイント	
3. ピシュナ 1b	
ピシュナ 1b の練習のポイント	
4. ピシュナ 2a	
ピシュナ 2a の練習のポイント	
5. ピシュナ 2b	
ピシュナ 2b の練習のポイント	
6. あとがき	

1. ピシュナの練習の目的

何の為の練習曲なのかを考えてみましょう。

練習曲は、それぞれに練習の目的があります。何の為の練習曲なのかを把握しないと意味がありませんね。ツェルニーやハノンなど、殆どの練習曲はテンポ指定が Allegro など速いテンポが指示されています。しかし、ピシュナのテンポ指定は Lento です。ゆっくり練習するように指示されています。ピシュナの練習の目的は、指のフォーム矯正とフィンガートレーニング及び指の独立の為の練習と私は指導されました。特に、高校2年生で師事しました際、指の第一関節が曲がるという癖がありまして、これを直すのにも苦勞致しました。

指のフォームについて考えてみましょう。バイエルの最初に写真が掲載されていたのを覚えてらっしゃいますでしょうか。「ピアノを弾く時は、タマゴを持つような手の形で」などというような説明を恐らく受けてらしたと思います。改めて、指のフォームの確認をしてみましょう。

ピアノを弾く時の手の形は、タマゴを持つように手の平は丸く指先は下を向いて、指の間隔は空いています。それから、全ての指の付け根の関節が出ている状態が好ましいです。写真を参照下さい。ビデオでも解説しております。合わせて参照頂けましたらと思います。

横から撮影しました。

